

超音波カッター
KW-430C
取扱説明書

[A] 始めに

この度は、超音波カッターKW-430Cをお求め頂き、厚く御礼申し上げます。
本カッターは、熱可塑性樹脂を始め、ゴムその他の絶縁材の切断が瞬時に行えます。
それだけに誤ってご使用されますと本機の性能が十分に発揮されないばかりか大変危険です。
本機を末永くお使い頂く為に、この取扱説明書をよくお読み頂き、正しく使用して下さい。

[B] 御使用上の注意

1. 本機のアース端子は必ず接地して下さい。
2. 電源スイッチを入れる前に必ずハンドピースの先端、刃がどこにも接触していないことを確認し、SONIC（発振出力）ON/OFF スイッチ⑤及びフットスイッチ⑦がOFFになっていることを確認して下さい。
3. 本機を使用する時は、必ず防護メガネをかけて下さい。
4. ハンドピースは無負荷発振時（カッティングをしていない時）にも熱を持ち先端が熱くなります。また、カット作業後は更に温度が上がっておりますので、超音波発振停止後すぐにホーン先端及び刃に触れますと火傷、怪我の危険があります。
5. 連続超音波発振（SONIC ON ランプの連続点灯）は、発熱の原因となりますので避けるようにお願いします。連続発振をする場合は、連続発振時間を 10 分以内にし、出力調整ツマミ（POWER）を 1/3 以下に調整して御使用下さい。
時々超音波発振を止めて冷ましてから御使用下さい。
6. 刃を締め付けすぎた場合や、クラックが入っている場合等に超音波発振させると刃が折れて飛び出すことがあります危険です。
7. 本機は、SONIC（超音波発振）ON/OFF スイッチ及びフットスイッチをONする前に、刃が何かに接触していると超音波発振が出来にくい場合があります。また、カットの途中での超音波再発振、刃に何かが付着した状態では超音波発振できない場合があります。
8. ハンドピース先端より異常音がする時には、ホーンの先端の溝内で刃が折れている場合や、上手く取り付いていない場合がありますので、外して点検し（折れている場合は交換）取り付け直して下さい。
9. 超音波発振不良は、発熱の原因となりますのでホーン先端の溝内を刃を交換する都度、付着物を取り除いてきれいにしてから御使用下さい。（溝内は、キズつけないように十分注意して下さい）
10. 本機はSONIC（超音波発振）ON/OFF 及びフットスイッチをONする前に、必ずハンドピースのプラグ⑩を TOOL（出力ソケット）⑥に接続して下さい。未接続状態での超音波発振は故障の原因になります。
11. 使用しない場合は、ハンドピースを必ず TOOL HOLDER⑮に入れて下さい。
12. 近くにラジオ等の受信機があるとノイズが入る場合があります。離して御使用下さい。

13. 替刃を付け替えても直ぐ刃が根本から折れてしまう時は、替刃がきちんと取付けられていない場合があります。尚、穴の空いた刃は使用しないで下さい。
14. エンジン溶接機を近くでは使用しないで下さい。振動しないことがあります。
15. 近くにコンピュータまたは、LAN用ケーブルがないことを確認して御使用下さい。影響を与える可能性があります。
16. カット時、刃が形状変化（刃こぼれ、先端の曲がり等）や変色した場合は、直ちに新しい刃と交換して下さい。
17. 刃は付属のもの以外は故障の原因になりますので絶対に使用しないで下さい。付属した刃以外を使用して故障した場合は、保障期間内であっても有償扱いとさせていただきます。刃の型番は[C]仕様に記載しております
18. 本機は、自己診断機能及びアラーム等の機能がついておりません。そのため、本機を装置等自動機に組み込んだの御使用はお控え下さい。
19. 金属を下敷きにしての使用はしないで下さい。振動が正常に伝導せず過負荷状態になり、故障の原因となります。

[C] 仕様

- | | |
|---------|--|
| 1. 名称 | 超音波カッター |
| 2. 型式 | KW-430C |
| 3. 出力電力 | 30W |
| 4. 周波数 | 40KHz |
| 5. 振動子 | 電歪型ボルト締振動子 |
| 6. 電源 | AC100V - 3A (50/60Hz) |
| 7. 外形寸法 | 175W×285D×160Hmm (本体) |
| 8. 重量 | 約 2.5kg (本体) |
| 9. 付属品 | フットスイッチ
替刃 (エヌティー株式会社 BCD-200P-30°)
専用工具 (六角レンチ、セットビス)
アース線他 |

[D] 操作手順

御使用前に

1. アース線をアース端子⑨に接続し、必ずアース線を接続して下さい。
2. ハンドピースの出力プラグ⑩を本機 TOOL (RF ソケット) ⑥に接続して下さい。
3. 電源スイッチ (POWER) ①が OFF であることを確認し、電源コードをコンセントに接続して下さい。

操作

1. SONIC (超音波発振) ON/OFF スイッチ⑤及びフットスイッチが OFF であることを確認して下さい。
2. 電源スイッチ①を ON にして下さい。電源ランプ②が点灯します。
3. ハンドピース先端及び刃がどこにも接触をしていないことを確認してから、SONIC (超音波発振) ON/OFF スイッチ⑤及びフットスイッチを ON すると、SONIC ランプ (超音波発振ランプ) が点灯します。この状態で熱可塑性樹脂やゴム等が切れるようになります。
4. POWER ボリューム (出力調整つまみ) ③で切れ具合を調整します。MAX 側で切れやすくなり、MIN 側で切れにくくなります。
切る素材により調整して御使用下さい。

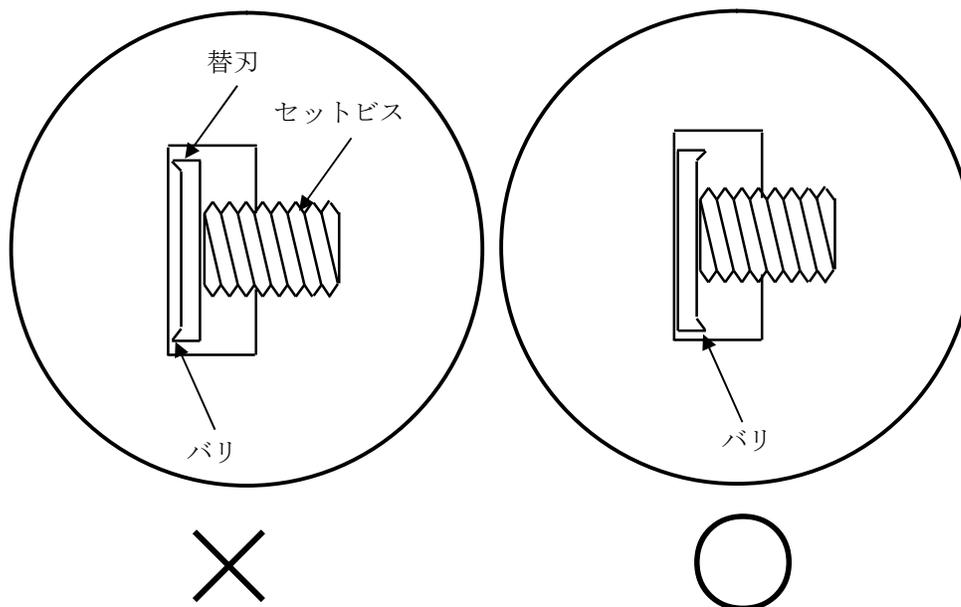
刃の交換

1. ハンドピース先端のセットビス⑭を、付属の六角レンチ (1.5mm) でゆるめ、古い刃を取り出して下さい。
(溝内は必ず付着物を取り除いてきれいにして下さい。)
2. 新しい刃を奥まで差込、セットビス⑭を締めれば完了です。この時あまり強く締めすぎると刃が折れることがありますので御注意下さい。
3. 刃を入れずにセットビス⑭を締めると構内にキズがつく事があるので、決して締めないで下さい。

刃の取り付け時の注意事項

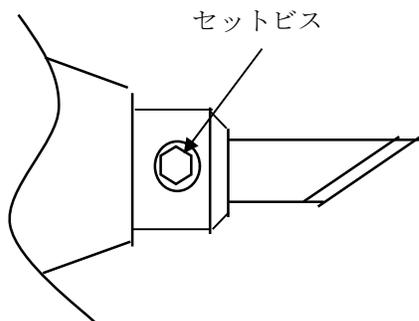
替刃は、表面にバリが出ています。このバリが出ている面を反セットビス面に当てて使用すると、バリによって浮いた状態になり振動が伝わり難くなる場合があります。また、バリにより傷を付けてしまい性能が劣る危険もあります。

替刃の向き



替刃のセットの仕方

下図の方向に替刃をセットして下さい。ただし、刃の反対面にもバリがある可能性がありますので、図の方向にセットした場合でも「切れが悪い」「異音がする」等の場合は、溝内の付着物を取り除き、他の刃に交換して下さい。



[E] 故障と対策

症状	確認事項	原因	対策	
切れない	電源スイッチをONにしても電源ランプが点灯しない。	電源プラグが外れている	電源プラグを差し込んで下さい	
		電源コードの断線 電源スイッチの不良 電源ランプの不良	*弊社までお送り下さい。	
	電源ランプ点灯する	SONIC ONランプ点灯	出力プラグ⑩がRFコネクタ⑥に接続されていない	出力プラグ⑩を完全に接続して下さい。
			ハンドピースから異常音ができる。	刃の取付け溝内を清掃して刃を交換して下さい
			間欠的に使用している時でもハンドピースの発熱が著しい。	*弊社までお送り下さい。
			RFケーブルの断線	
			セットビスのゆるみ	セットビスを締め直して下さい
			SONIC ONランプ点灯しない	SONIC (超音波発振) ON/OFF スイッチ不良
	フットスイッチ不良			

[F] メンテナンス

刃を交換する時は、ハンドピース先端の溝内の付着物等を必ず取り除いて下さい。
異常音が出たり、刃が折れたりする原因になります。

[G] 保証 / サービス

弊社製品は、通常の使用状態において1年間保証です。保障期間後についても十分なアフターサービスを行いますので、ご遠慮なく弊社サービス部もしくは販売代理店に御連絡下さい。

本保証は国内で使用される場合に限りです。

* 仕様及び形状は、改良の為に予告なく変更する事がありますので御了承下さい。

* お問い合わせ先*

〒277-0872

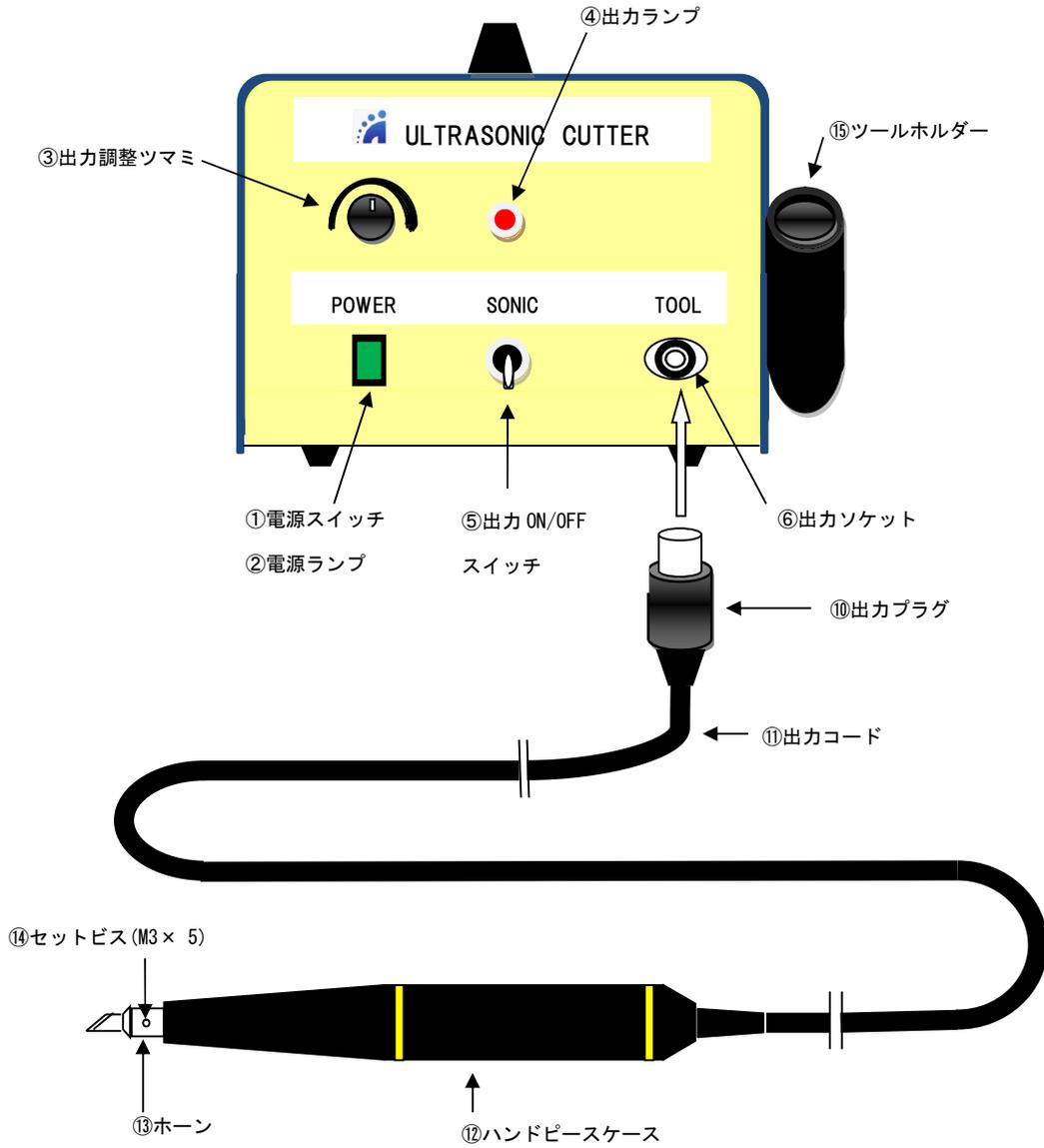
千葉県柏市十余二 348-149

日本アレックス株式会社

TEL : 04-7137-2081

FAX : 04-7137-2083

前 面



後面

